

東京国立博物館 ニュース



特別展&特別企画 Information

「特別展 人、神、自然 — ザ・アール・サーニ・コレクションの名品が語る古代世界 —」

「日本書紀成立1300年 特別展 出雲と大和」

「特別展 法隆寺金堂壁画と百済観音」…… 2

「博物館に初もうで」…… 4

「特別公開 高御座・御帳台」…… 5

「特集 伝説の面打ちたち」／

「特集 生誕550年記念 文徴明とその時代」…… 6

トーハクくんのなるほトーハク …… 5

総合文化展 Pick Up!

(本館／東洋館／平成館／法隆寺宝物館／黒田記念館) …… 7~11

トーハクの調査研究⑤ …… 9／みどりのライオン(教育普及事業) …… 12~13

イベント&インフォメーション …… 14~15

2019年12月-2020年1月の展示・催し物 …… 16

今号の名品

「重文 御所車蒔絵硯箱」



3ページに掲載してるほ!



特別展

「人、神、自然—ザ・アール・サーニ・コレクションの名品が語る古代世界—」

自然界の循環を表す工芸品

カタール国の王族、シェイク・ハマド・ビン・アブドラ・アール・サーニ殿下のコレクションより、古代に製作された工芸品を厳選してご紹介します。

展示室には、さまざまな古代文化を背景に製作された多種多様な作品が並びます。個々の作品の造形と表現されている意匠はもちろんのこと、金や銀、ラピスラズリやガーネットといった多岐にわたる素材と、それを形にした古代の職人技も見どころです。

展覧会の構成は3章立てとなっています。1章「人」では、支配者を表現した彫像や、権威の象徴であった品々に注目。2章「神」では、神像や

奉納品から人々と神々との関係性に迫り、3章「自然」では、主に動物を模した工芸品から、人々が自然物をどのように意味づけたのかを探ります。

例えば、今から4000年前に中央アジアで作られた金製の碗。ヤギの群れに襲いかかるヒョウに目がいきますが、交尾をするヤギや、育まれる仔ヤギなど、ヤギの群れが繁栄する様子も丁寧に描かれています。また、背景には図式化された植物文様も配されています。これは人々の生活圏の周囲にあった自然界が存在したことを示しています。

11月6日*

2020年
2月9日*

東洋館3室



側面

碗

金 中央アジア
前2300～前1800年頃
ザ・アール・サーニ・コレクション蔵
自然界で繰り広げられる生命のサイクルを、小さな器の表に描写しています



底部

総合文化展観覧料および開催中の特別展観覧券(観覧当日に限る)でご覧いただけます。

(小野塚拓造)

特別展

「法隆寺金堂壁画と百済観音」

至高のみほとけ、東京へ!

国宝の百済観音像が23年ぶりに東京で公開されます。像高約210センチメートルという長身の観音様で、ゆらめくような細身の身体が特徴的です。わずかに微笑んだ口元、優しく差し出された手の表情、風をはらんで前方にカールした天衣など、その美しさは多くの人々を魅了してきました。百済観音像は江戸から昭和初期まで法隆寺金堂に安置されていたのですが、本展では模本等の金堂壁画に囲まれた空間で拝観することができます。(三田覚之)



●観音菩薩立像(百済観音)

飛鳥時代・7世紀 奈良・法隆寺蔵
写真:飛鳥園

評論家の亀井勝一郎は、著書『大和古寺風物誌』において、「大地から燃えあがった永遠の焰」と讃えました

関連事業 事前申込制

①記念講演会「法隆寺金堂壁画と写した人々」

日時:2020年3月21日(土)
13:30~15:00(13:00開場予定)

②記念講演会「百済観音の世界」

日時:2020年3月28日(土)
13:30~15:00(13:00開場予定)

講師:三田覚之(当館工芸室研究員)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講料:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。講演会当日以前に使用済の半券でも可。その場合は別途、当日の入館料が必要)

申込方法:往復はがきでお申込みください。[「往信用裏面」に、(1)希望する講演会の番号(①、②のいずれか)、(2)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(3)代表者の郵便番号・住所、(4)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申込みください。なお、申込は各回お1人(または1組)につき1通までです。

申込先:〒113-8730 日本郵便株式会社 本郷郵便局私書箱16号 特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」講演会

(①、②のいずれか) 係行

申込締切:①2020年1月28日(火) 必着 ②2020年2月4日(火) 必着

観覧料:一般1,200円(1,100円)、大学生600円(500円)、高校生400円(300円)、中学生以下無料 * ()内は前売および20名以上の団体料金 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は2020年1月7日(火)から3月12日(木)まで、展覧会公式サイト等で販売/お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル)/展覧会公式サイト https://horyujikondo2020.jp/

日本書紀成立1300年

特別展「出雲と大和」

彫りの深い
凛々しい顔立ちに注目

本展では、仏教が日本列島に本格的に浸透し始めたころの仏像をご覧いただけます。

奈良の當麻寺は大和と河内にまたがってそびえる、二つの頂をもつ二上山の麓に所在します。本像は、その當麻寺金堂の本尊、弥勒仏坐像を守護する四天王像で、脱活乾漆造という大陸新来の技法でつくられた、現存最古の像です。法隆寺金堂四天王像に次いで、日本で2番目に古い四天王像としても知られています。

顎ひげをたくわえた彫りの深い顔立ちは、威厳があり写実性に富んでいます。こうした作風は中国初唐時代の彫刻様式に影響を受けたものと考えられています。

(皿井舞)



●持国天立像

(四天王像のうち)

飛鳥時代・7世紀 奈良・當麻寺蔵

画像提供:奈良国立博物館

(撮影:佐々木香輔)

底の深い上脛で造り出す厳しい表情と、たつぷりたくわえた顎ひげが男前な持国天です

関連事業 当日受付

記念公演「雅楽・石見神楽」

本展を記念して、奈良県と島根県が伝統芸能の公演を行います。

日時:2020年1月15日(水)

①13:30~14:30 ②15:30~16:30

*各回開場は開演の30分前を予定

出演:おやさと雅楽会・江津市石見神楽連絡協議会

会場:平成館大講堂

定員:380名(当日先着順)

聴講料:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。使用済の半券でも可。その場合は別途当日の入館料が必要)

*詳細は展覧会公式サイト参照。

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)、中学生以下無料 * ()内は前売/20名以上の団体料金。前売券は2020年1月14日(火)まで、展覧会公式サイト等で販売 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) /お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル) /展覧会公式サイト https://izumo-yamato2020.jp/

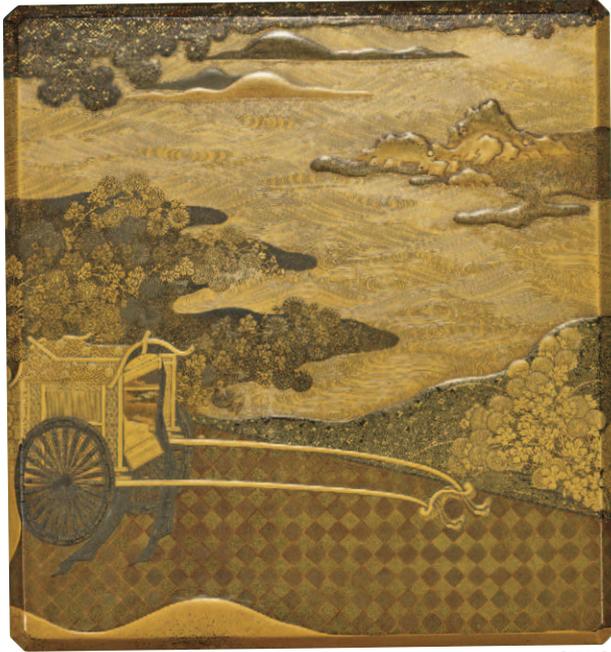
今号の名品

2019年12月-2020年1月号

重文 御所車蒔絵硯箱

2020年1月2日(木)～3月22日(日)
本館12室

江戸の蒔絵師がつくりだす繊細かつ華麗な世界



江戸時代・17世紀
◎御所車蒔絵硯箱

洲浜を望む流水に、岸辺で菊が咲き乱れ、技巧を凝らした画面です

この硯箱の蓋表、下方に連なる石畳をご覧下さい。若干色の異なる正方形をきっちり敷き詰めています。どのようにして色を描き分けているのか、おわかりになりますでしょうか？

漆で絵を描き、そこへ金や銀などの粉を蒔いて文様を表す技法が「蒔絵」です。金と銀を蒔き分ければ、石畳に二色のマス目ができます。ただし、それだけではこの微妙な色合いは出ません。ここでは事前に粗く金粉を蒔いて漆で塗りこめてから、さらに金銀の粉を蒔き分けているようです。若干赤みがかった落ち着いた

輝きはそのためでしょう。「そんなことか」と思われるかもしれせん。しかしこの素朴な、でも繊細で丁寧な色調の変化は、同じ画面に展開する菊や岩、流水に見られる複雑な技巧の複合体の中で、本作全体の華麗さを引き立てる重要な舞台であるように感じます。

そもそも「蒔絵」は漆と貴金属という素材自体が高価な技法です。より豪華な品が求められるようになると、単純に金の割合を増やすというだけでなく「豪華に見える」ための無数の工夫が凝らさ

れます。本作で言えば、漆地の沈んだ色調に強い輝きを持つ金の板を並べて対比させたり、あるいは流水のゆらめくような動きのなかに力強く盛り上がる岩の造形を置いたりする

ようなところででしょうか。繊細かつ精緻な描写と、変化に富む金銀の色彩を巧みに取り合わせることで、より華麗で見事になることに、江戸時代の蒔絵師は気がついていたのでしよう。

さて、本作の主要モチーフ「御所車」とは、平安時代に高貴な身分の人々を乗せて運んだ「牛車」のことです。江戸時代にはすでに過去の乗り物となっており、特別な場合をのぞき使用されることはありません。それだけに、遠い憧れの王朝文化を象徴する題材でもありました。ここに表されているのは、唐破風を持つ格の高い「唐車」です。屋根に菊文をちりばめた、長寿を願う吉祥に満ちた意匠です。全体を見ても一分の隙もなく描きあげられたことほぎの造形のなかで、この御所車が際立って見えるのは、やはり石畳の素朴な表現あってこそではないでしょうか。妍(けん)を競うかのような江戸時代の蒔絵において、本作ではあえて、この繊細な色遣いに注目したいと思うのです。

【蓋表 拡大】



高蒔絵に切金など濃密な装飾のなかで繊細な色の変化が光ります

【身】



流水は蓋裏、身へと連続し、殿舎の側を流れる岸辺には水禽が遊んでいます

【蓋裏】



全図

(福島修)

日本のお正月ここにあり!

博物館に初もうで

2020年
1月2日(木)
1月26日(日)

今年もよろしく
お願いします。



ユリノキちゃん トーハクくん
東京国立博物館公式キャラクター

あけまして
おめでとうー!

2020年の新春は元号が令和となって初のお正月、そして十二支最初の子年です。今年も干支や吉祥にまつわる展示、そして和太鼓や獅子舞などの伝統芸能も開催。新しい1年のはじまりをぜひトーハクで!

特集

「ねずみ」といえば、どんなイメージ!?

「博物館に初もうで 子・鼠・ねずみ」

本館
特別1室
特別2室

平成から令和に改元された2019年も早いもので、残すところ一ヶ月となりました。年賀状の準備が話題となるこの時期に、ふと気になるのが、来年の干支ではないでしょうか。暦や方角を示す干支は古代中国で成立し、現在も私たちの生活に寄り添っています。令和2年は、十二支の最初にあたる

子年。そこで新春の訪れをお祝いし、子年の鼠をテーマとした特集を開催します。十二支の鼠のほか、大黒天(七福神の一人)の使いとしての鼠、子孫繁栄の象徴となった鼠など、鼠のさまざまな顔をご紹介します。江戸時代に流行した鼠色の着物や、永遠のライバル・猫との共演もお楽しみください。

(鶯頭桂)



一つ身振袖

鼠色縮緬地萩流水鳥帽子鞍模様

江戸時代・19世紀

江戸時代、微妙に色合いの異なる鼠色が大流行しました



鼠、猫と遊ぶ娘と子供

鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
江戸時代、実はねずみはペットとしても親しまれていました

染付大根鼠図大皿

伊万里 江戸時代・19世紀
平野耕輔氏寄贈

「大根食うねずみ」を「大黒ねずみ」にひっかけた判じ物です



お正月限定!

カレンダー付きワークシート

新年1月2日(木)、3日(金)の2日間、ご来館の先着3,000名様(各日)にワークシートをお配りします。特集「博物館に初もうで 子・鼠・ねずみ」を楽しむためのワークシートの裏面に、2020年カレンダーがついています。ワークシートの配布は11時から16時、本館2階便殿前で行います。※時間内でもなくなり次第終了とさせていただきます。

新春イベント

■催し物 ※各30分程度

2020年1月2日(木)

11:00/13:15 和太鼓 湯島天神白梅太鼓 東洋館前
11:45/14:00 獅子舞 葛西雛子中村社中 東洋館前

2020年1月3日(金)

11:00/13:15 和太鼓 湯島天神白梅太鼓 東洋館前
11:45/14:00 獅子舞 葛西雛子中村社中 東洋館前
12:30/14:45 クラリネット・コンサート 平成館ラウンジ

■いけばな

2020年1月2日(木)~13日(月・祝)

正門、本館玄関、本館大階段
真生流 山根由美氏

■TNM & TOPPANミュージアムシアターより
プレゼント

2020年1月2日(木)・3日(金)

VR作品を鑑賞された方にシアター無料券とオリジナルグッズをプレゼント。

※鑑賞には別途料金および当日の予約が必要です。
※コンテンツ等の詳細はウェブサイト(<http://www.toppan-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

■ホテルオークラレストラン ゆりの木より
プレゼント

2020年1月2日(木)・3日(金)

ゆりの木ご利用のお客様先着200名様に伊予の水引の箸置きをプレゼント

■ミュージアムショップからお年玉

2020年1月2日(木)・3日(金)

全ミュージアムショップで3,000円以上お買い上げのお客様、両日とも先着300名様にミュージアムグッズをプレゼント(東京国立博物館の全ミュージアムショップの会計額が対象、引き渡しは本館ミュージアムショップでのみ対応)

2020年1月2日(木)・3日(金)

美術図書バーゲンセール
(本館ミュージアムショップのみ対象)

■寛永寺根本中堂特別参拝

2020年1月2日(木)・3日(金) 10:00~15:00

根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画、四天王像などを公開します。当館観覧券の半券(当日分)をご提示ください。散華をお配りします。

特別公開 高御座と御帳台

本館特別4室・特別5室 12月22日(日)〜2020年1月19日(日)



高御座と御帳台

画像提供：宮内庁京都事務所

令和元年10月22日、天皇陛下が即位を公に宣明されるとともに、その即位を内外の代表がことほぐ儀式として、皇居の宮殿において、即位礼正殿の儀が行われました。儀式においては、宮殿の正殿松の間に高御座と御帳台が置かれて、天皇陛下が御束帯(黄櫨染御袍)をお召しになって高御座に昇られ、皇后陛下が御五衣・御唐衣・御裳をお召しになって御帳台に昇られたのち、天皇陛下からおことばがありました。内閣総理大臣が寿詞(お祝いの言葉)を述べ、万歳を三唱すると、参列者の

唱和が続き、天皇陛下下の即位をお祝いしました。また、宮殿の中庭には、色とりどりの旗や棒が立てられました。当日は降雨のため、宮殿内の回廊などには、伝統的な装束を着装した威儀の者や威儀物捧持者などが並びました。この度の特別公開では、即位礼正殿の儀で用いられた高御座・御帳台と威儀物を一般参観に供するとともに、即位の礼の諸儀式の写真と、装束姿を再現する人形を展示します。

※開館日は当館の開館日に準じます。ただし、12月23日(月)は「高御座と御帳台」会場のみ開館します。 ※入館等については本誌14ページをご覧ください

トーハクくんの なるほク トーハク

金曜・土曜はナイトミュージアム!



金曜の夕方4時半。トーハクくんはとても焦っていました。閉館直前だというのに、まだ見ていない展示室がたくさんあったのです。さて、どうするトーハクくん!

うわー、どうしよう! 油断していたら、まだ見てない展示室が多すぎるほ! 特集「博物館に初もうで」を見たいけど、東洋館の特集「文徴明とその時代」も見たいし、あー! 困ったほ…!

こんばんは、トーハクくん。慌てちゃってどうしたの?

ああ、ユリノキちゃん。今ほくには時間がないんだほ。ギリギリまで集中して展示を見たいから、話しかけないでほ。

あら。そんなに焦らなくても、トーハクは金曜と土曜は夜9時まで開館しているのよ?

そうだったー! 大事な情報を教えてくれてありがほー! これで「博物館に初もうで」のねずみちゃんたちにもゆっくり会えるほ! でも、どうして夜に開館してるんだほ?

実はね、夕方まではお仕事やお勉強など、いろんな用事があるお客様から「閉館が夕方だと間に合わないの、夜に展示を見られたらいいのに」というご要望をたくさんいただいていたの。ひとりでも多くのお客様にご覧いただけるよう、現在は金曜と土曜は開館時間を夜9時まで延長しています。

ほー! たしかに、休日はしっかりお休みしたい人もいるから、ご用事の帰りに立ち寄れるほうがいいんだほ。ところで、夜に来るとどんないいことがあるんだほ?(入館は8時30分まで)

そうねえ。夜は建物や周辺がライトアップされて、ロマンティックで雰囲気がいいの。でもやっぱり一番は、昼間よりも展示室が落ち着いて感じられて、作品とゆったりと向き合えるってことかしら。



ほんとだ! 展示室が空いて見やすいほー!

トーハクくん、正直なのはいいことだけど、それは広報大使としてあるまじき発言よ…(泣)。でもそうね、見る環境って大事よね。

静かだから、なんだか仏像とも会話できちゃいそうだほ。ほかにはどんないいことがあるほ?

夏には、特設ビアガーデンやキッチンカーの軽食が楽しめる「トーハク BEER NIGHT!」や本館前のスクリーンで映画を上映する「博物館で野外シネマ」を開催したり、いろんなイベントで博物館を盛り上げているの。

わあー楽しそう! ほくもそのドリンク飲みたい!

それビールだから絶対だめ。

ほーい。

あと、ミュージアムショップやレストランゆりの木(ラストオーダーは閉館の40分前)も閉館まで営業しているから、ショッピングやディナーもゆっくり楽しめるのよ。

そうか! 今日はユリノキちゃんのおかげで、いいことを覚えたほ。『トーハクは、金曜と土曜は夜9時まで!』はあ、安心したらなんだかお腹すいちゃったほ。クッキー食べて、ひと休みしようっと。

え? 展示室見ないの?

ユリノキちゃ〜ん。そんなに焦らなくても、今日は夜9時まで開館しているんだほ!



実際に金曜の夜7時ごろに本館11室で撮影しました



「博物館で野外シネマ 2019」の様子

※開館時間は時期により変動があります。

伝説の面打ちとは？

特集 伝説の面打ちたち

「伝説の面打」という言葉を聞いたことがありますか？「面打」とは能面の作者のことでは、伝説とは？

実は面打について詳しく知る手掛かりはほとんどありません。世阿弥の『申楽談儀』に名手として紹介されながら、実態は謎に包まれているのが「伝説の面打」です。今回は、江戸時代の面打によって、伝説の面打の作品だと鑑定された面を展示します。

「伝山姥」の奇妙にも見えるインパクトのある表情、「大癒見」の眉間や頬の自然な表現は確かに名手の作品でしょう。

しかし、なぜ実態のわからない伝説の面打の作と鑑定できたのか。伝説の面打ちたちはどんな人物だったのか。能面をじっくり見ながら思いを巡らせていただく機会となれば幸いです。
(川岸瀬里)



品位を感じさせる 気高い表情

この面の作者の実力は相当なもの！江戸時代に増阿弥と鑑定されました。

のうめん ぞうおんな
能面 増女

「増阿弥作 満昆(花押) 満猶(花押)」
金字銘
梅若家伝来
室町時代・15～16世紀



迫力満点！ 大天狗の役に使われた面

伝山姥と同じ作者だという説もあります。見比べてみてください

のうめん おおべし
能面 大癒見

「佐渡嶋／一透作／久知住」刻銘
室町時代・15世紀 文化庁蔵



忘れられない 怪異な容貌

能面のなかでも屈指の名作。この不思議な表情は…？

のうめん てんやまんば
◎能面 伝山姥

伝赤鶴作 梅若家伝来
南北朝時代・14世紀

本館 14室

2020年1月2日(木)
～2月24日(月)

一世を風靡した書画、ここにあり！

特集 生誕550年記念

文徴明とその時代

文徴明(1470～1559)は、明時代(1368～1644)の半ばころに、中国の南に位置する文化都市、蘇州で活躍した書画家です。名門一族に生まれ、温厚な人柄から文人社交界の中心となり、90歳の長寿を全うしました。古典をよく学んだ、気品ある書風・画風は、一世を風靡し、後世にも大きな影響を与えました。

本特集は、台東区立書道博物館とトナーハクとの連携企画第17弾にあたります。ふたつの会場で文徴明の芸術を楽しんでいただければ幸いです。
(六人部克典)

極小の楷書へつながる緻密な描写

若いときの作品。非常に細やかで丁寧な筆致からは、文徴明のまじめな性格がうかがえます

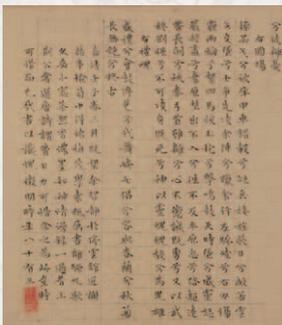


さんすい すかん 山水図巻 文徴明筆 中国 明時代・弘治15年(1502) 個人蔵 (部分)

令和2年(2020)は、文徴明の生誕550年にあたります。この機会に、文徴明の書と画の魅力を改めてご紹介し、彼を慕った文人たちの書画作品、そして彼を育んだ蘇州という都市の文化的魅力を伝える作品をあわせて展示します。

晩年でも輝く美しい楷書

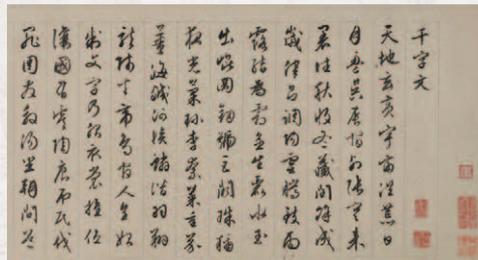
超絶技巧は不断の修練に支えられ、晩年まで極小の楷書を書き続けました。83歳時の書



かいしより そうきゅう かん 楷書離騷九歌巻 文徴明筆 中国 明時代・嘉靖31年(1552) 高島菊次郎氏寄贈 (部分)

躍動する筆から生まれる伝統の書

古典に基づく謹厳な造形でありながら筆使いは躍動感にあふれます。76歳時の草書



そうしよせん じんかん 草書千字文巻 文徴明筆 中国 明時代・嘉靖24年(1545) 青山杉雨氏寄贈 (部分)

東洋館 8室

2020年
1月2日(木)～
3月1日(日)

Pick up!

本館

静と動をあわせもつ名作

国宝
松林図屏風

2020年1月2日(木)～1月13日(月・祝)

2室 国宝室

濃い霧に包まれた静かな松林。作品の静謐なたたずまいとは裏腹に、筆勢の激しさに驚かされます。霧の晴れ間から覗く手前の松葉は、濃い墨を擦りつけるように強く、遠くの樹影は淡い墨で描かれています。ところが、少し離れて作品を眺めると、その粗い筆触が、画面から漂うひんやりとした大気に覆われていくように見えるのです。等伯は中国の画家・牧谿からこの画の着想を得たといわれます。

作家の安部龍太郎は小説『等伯』で、本図を、画家の故郷・能登七尾の気嵐



(右隻)

●松林図屏風

長谷川等伯筆
安土桃山時代・16世紀
日本の水墨画がたどってきたひとつの到達点

の光景と重ねています。海から濃く立ち昇る蒸気の向こうに、波や松原を通る風の音が今にも聞こえてきそ

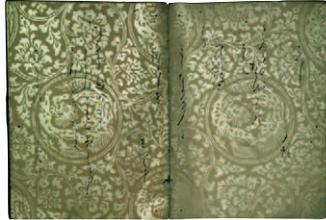
本館

装飾料紙と仮名が織りなす品格

国宝
古今和歌集
(元永本)下帖

2020年1月2日(木)～1月19日(日)

3室 宮廷の美術—平安—室町



●古今和歌集(元永本)下帖
平安時代・12世紀
三井高氏寄贈
日本の書ならではの連続と余白の美をご堪能ください

二重蔓唐草双獅子文様が雲母摺りされた日本製の唐紙に、「古今和歌集」巻十八から和歌が二首、散らし書きされています。「元永本」は、『古今和歌集』仮名序と二十巻すべてを収めた原装幀のままの完本として現存最古の遺品です。上帖の奥書に「元永三年」とあるため、この名で呼ばれます。

筆者と推定される藤原定実(活動確認期1077～1119)は、平安時代に能書(書の巧みな人)として活躍した人物です。定実は、後半にこのように大胆な散らし書きを混ぜており、右から3～7行目は重なるように配して、左頁ののびやかな連続(文字をつなげて書くこと)との変化を演出しています。

(恵美千鶴子)

本館

深い秋色に描かれた初夏の場面

重文
葛の細道図屏風

12月25日(水)

7室 屏風と襖絵—安土桃山—江戸



●葛の細道図屏風

深江芦舟筆
江戸時代・18世紀
細く暗く行く手を前にした、男の心情がよく表現されています

シに関連するだけでなく、作者の芦舟による心情表現の工夫な

『伊勢物語第九段「東下り」の一場面。東国をゆく男が、葛の生い茂る東海道の難所・宇津山にさしかかったところで知人の修行僧と偶然出会い、都に住む愛しい人への手紙を託します。『伊勢物語』は短い小話を連ねた歌物語ですが、人の情、特に寂寥感を巧みに描き、多く絵画化されました。ここでは後ろ姿や横顔のみの人物像を通じて、暗い細道を前にした男の心細さや、愛する人へのやるせなさなどが表現されています。夏の場面にもかかわらず紅い葛を描くのは、葛紅葉で知られる宇津山のイメージ

本館

煌びやかな、中世鞍の優品

重文
獅子螺鈿鞍

2020年1月2日(木)～3月22日(日)

12室 漆工



●獅子螺鈿鞍

平安～鎌倉時代・12～13世紀
嘉納治五郎氏寄贈
古式を示す希少な鞍。沃懸地螺鈿の魅力が理想的な姿で発揮されています

本作のように、浴びせかけるように金粉を蒔き詰める技法のことを「沃懸地」といいます。平安時代の蒔絵粉は大きめで形が揃わない分、沃懸地は豪華で玄妙な輝きを持ちます。本作では、そこへ肉厚で幅の広い夜光貝の塊を3つドバン!と配置しています。じつに、私はこの配置の妙に尋常ならざる感性を感じます。鞍の有機的な曲面に合わせて貝を極力割らずに形を合わせ、ほぼ1枚の貝片から1匹の獅子を作り出している点にも注目です。金地に浮かぶ獅子の姿は、細分化されない真珠層の塊として捉えられます。馬の背に置けばシンプルで力強く、平安後期から鎌倉期にかけて盛行した沃懸地螺鈿の典型を示す作品です。

(福島修)

東洋館

丹念な造形に、思わずため息

重文 勢至菩薩立像

1室 中国の仏像

銅像に鍍金を施した金銅仏で、小像ながら、髪の毛や胸から裾まで垂れ下がる珠飾りなど、細かく丁寧に表されます。透かし彫りの美しい光背には、唐草文様の地に小さな仏坐像が付いています。



◎勢至菩薩立像
中国 隋時代・6世紀
すらりとした立ち姿が印象的な菩薩立像。阿弥陀三尊を構成していました

丸顔に切れ長の目を刻む顔立ち、まろみを帯びながらも肉どりを抑え、腰を引き締めた体つきは、中国・隋時代の仏像の特色です。優れた出来栄で、当代を代表する遺品といえるでしょう。なお、頭の飾りに小さな水瓶が見えるため、阿弥陀如来につきしたがう勢至菩薩とわかります。阿弥陀如来像の所在は確認されていませんが、対となる観音菩薩立像は静岡・MOA美術館に所蔵されています。(西木政統)

東洋館

にらみをきかせる大きな瓦

饗養文瓦

4室 中国文明のはじまり



饗養文瓦
中国 戦国時代(燕)・前5～前4世紀
屋根を飾った半月形の瓦。燕国の瓦の中でも大型品に属します

中央部には大きな瞳の饗養文。瞳の上の角のようなものは上下逆さの小さな獣で、背中合わせの左右対称に表されています。こうした饗養文を表現した瓦は現在の北京市一帯で出土することから、当地を根拠地とした戦国七雄のひとつである燕国に関連するとみられます。そうしたなかでも本品は大型品で、都市機能の要となる建物に用いられたことを示唆します。饗養文は、殷周時代にこそ流行しましたが、戦国時代には下火になっていました。実は燕国では前4世紀に王が立つと、復古的な思潮が高まりをみせたといわれています。伝統と格式の饗養文を採用したのもその一環といえるかもしれません。(市元星)

東洋館

洞窟内をおごそかに飾った幡

地藏菩薩立像幡

5室 西域の美術

釈迦が入滅してから未来の仏である弥勒菩薩が出現するまでの間、現世には仏が不在になると考えられてきました。中国では、この間、地藏菩薩が六道、特に地獄に落ちて苦しむ衆生を救うと信じられてきました。



◎地藏菩薩立像幡
中国 唐時代・9世紀
中国敦煌莫高窟藏經洞ヘリオ探検隊将来品
ギメ東洋美術館交換品
唐時代に製作されたこの幡は、敦煌だからこそ残った貴重な作品です

幡は寺院の建物の内外を荘厳するための道具です。おそらくこの幡も敦煌莫高窟の洞窟内部につるして、仏を供養したと考えられます。三角形の部分が幡頭、長方形の部分が幡身です。また、幡身わきにつけられた幡手、下につけられた幡足があったものと推測されますが、現在は装飾文様を描いた幡頭および地藏菩薩を描いた幡身のみが残っています。(勝木言一郎)

東洋館

不思議で愛らしい、遊牧民の文様

袋裂 赤地猫人物幾何文様
パイル織・ソウマク織

13室 アジアの染織



◎袋裂 赤地猫人物幾何文様
パイル織・ソウマク織
イラン・ロリ族 20世紀初頭
小西明人氏寄贈
部族に伝えられた独特の文様や身近な生き物の姿などを手織で表しています

当館では、遊牧民研究家・故松島清江氏が収集したアジアの遊牧民の染織を年に一度展示しています。イラン・イラク・トルコ・パキスタンなどの高地や平原で遊牧をしながら暮らしていた部族たちは日々の生活に用いる絨毯や衣服、袋などを、家畜の毛を紡いで鮮やかに染め、部族特有の文様を織り出し、装飾性豊かな布で彩りました。この袋裂は、布の表面に輪を作りながら織ることで毛羽を立たせるパイル織と、西アジア独特の織り技法である縫取織の一種、ソウマク織を用いて、駱駝のような四つ足の動物や猫、幾何文様などを織り出しています。(小山弓弦)

総合文化展 **Pick up!**



みみずく土偶

縄文時代(晩期)・前1000~前400年
埼玉県鴻巣市滝馬室出土
愛らしい顔の表現と一緒に大きな耳飾りにも注目してください

みみずく土偶が盛行する時期は、さまざまな大きさや形そして文様をもつ耳飾りが数多くつくられることから、縄文社会における耳飾りの果たした役割が大きくなった時期と考えられます。みみずく土偶の大きな耳飾りにも何かしらの秘密が隠されているのかもしれない。

(品川欣也)

平成館

愛らしさの中に見えてくる
縄文の風俗

みみずく土偶

2020年1月2日(木)~3月1日(日)
考古展示室

法隆寺宝物館

高度な刺繍によって表された
仏の姿

重文 繡仏裂

12月17日(火)~2020年1月19日(日)
第6室 染織—蜀江錦と繡仏裂



(部分)

飛鳥時代・7世紀
繡仏裂
聖徳太子の母である間人皇后と妃の膳が刺繍したとの伝承があります

断片と化した織物のなかで、軽やかに天衣をひるがえす仏の姿。飛鳥時代の後期に制作された刺繍作品です。もとは幡という仏教儀礼で用いる旗の吹き流し部分である幡足でした。幡足はヒラヒラはためくものであるため、実は両面刺繍という特殊な技法でつくられています。この作品は「しじら」という経糸・緯糸に強い撚りを掛けた絹織物に刺繍されているのですが、同じ織物の断片が灌頂幡(宝物館第1室に展示)の下端に残されていることが、調査によって判明しています。そのため、この繡仏裂はもと灌頂幡の幡足であったと考えられています。

(三田寛之)

黒田記念館

師も絶賛、黒田渾身の女性像

マンドリンを持てる女

12月17日(火)~2020年3月15日(日)
黒田記念室



マンドリンを持てる女
黒田清輝筆 明治24年(1891)
サロン(展覧会)に向け、パリのモデルを雇って描かれた黒田の力作のひとつです

マンドリンは、西洋において絵画のモチーフとして用いられることが多く、黒田清輝の師であるラファエル・コランも、マンドリンを弾く女性像「弾手」を描いています。その作品は、フランスに留学していた黒田が親しんだ絵画のひとつでした。

黒田にとって馴染みのある画題を描いた「マンドリンを持てる女」は、コランの作品とは異なり、マンドリンを弾き終えて、なにか物思いにふける女性を妖艶に表しています。後に、作品を見たコランからその出来栄を認められた逸品です。

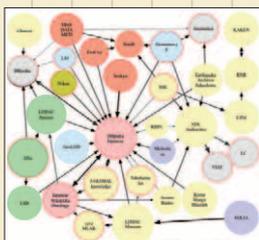
(東京文化財研究所・野城今日子)

トーハクの調査研究 ⑤

新たな発見を求めて、
データ探索ツールをつくる

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

ネット上には多くのデータベースがありますが、分野やテーマごとにわかれている、個々のデータは孤立しがちです。しかし本来、知識とは分野やテーマをこえて相互につながっているもの。一枚の絵があれば作者が、その作者には他の作品が、さらには弟子がいたり著書もあつたりするでしょう。このように情報を一挙つる式に辿っていくための「Linked Data」(データ同士をリンクさせて「データウェブ」を構築する)技術が、近年普及しつつあります。現在、当館の所蔵品のデータを国立国会図書館の著者名データや、海外の博物館が保有する芸術家の人名データ、その他様々な分野とつなげることを試しています。新たな知識や発見を得るために、こうしてできた大きなデータウェブの中を探索するツールをつくる研究を進めています。(村田良二)



https://github.com/iodinitiative/JLDC, © Fumihiko Kato, 2015-11-18, CC-BY

「Linked Data」によって互いにつながったデータベースのイメージ

1月 展示案内

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸
- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- (13-1: 金工 休室)
- (13-2: 刀剣 休室)
- (13-3: 陶磁 休室)
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術



2020/1/2(木)-1/19(日)

3-2

◎古今和歌集(元永本)下巻

平安時代・12世紀
三井高大氏寄贈
『古今和歌集』を
完存する遺品。装
飾料紙と仮名の
共演がすばらし
いです
(→Aページ)



2020/1/2(木)-2/2(日)

◎網絵巻 室町時代・16世紀

平安時代の武将、渡辺綱が羅生門に住む鬼を退治する物語です



(部分)

2020/1/2(木)-2/2(日)

◎鷹山水図屏風

雪村周継筆 室町時代・16世紀
松永安左工門氏寄贈



戦国武将好
みの鷹の絵。
隠し絵のよ
うなウサギ
を見つけれ
るでしょ
うか

(部分)

-12/25(水)

3-3

◎四季山水図屏風

楊月筆 室町時代・15世紀



(部分)

本館 2F: 1~10

-12/25(水)

1-1

◎袈裟褌文銅鐻

弥生時代(後期)・1~3世紀
滋賀県野洲市小篠原大岩山出土



2020/1/2(木)-6/21(日)

◎埴輪 腰かける巫女

古墳時代・6世紀 群馬県大泉町古海出土
贅沢な装いで鏡鏡を腰から下げる、椅子に座った高貴な巫女です

-12/25(水)

1-2

◎菩薩立像

飛鳥時代・7世紀



2020/1/2(木)-2/2(日)

◎賢愚経断简(大聖武)

伝聖武天皇筆
奈良時代・8世紀
筒井邦子氏寄贈
「大聖武」と称される雄渾な書風の「賢愚経」断简です



-12/25(水)

2

◎法華経一品経 勅持品

鎌倉時代・13世紀 埼玉・慈光寺蔵
埼玉県慈光寺に伝来した鎌倉時代初期を代表する装飾経です



(部分)

-12/25(水)

7

◎鶺鴒の細道図屏風

深江芦舟筆 江戸時代・18世紀 (→7ページ)



2020/1/2(木)-2/9(日)

◎花車図屏風 江戸時代・17世紀

金で装飾された花車に四季の花々。大名家の間で人気のあったモチーフです



(右隻)

12/3(火)-2020/2/24(月)

4

◎文琳茶入 銘 宇治

中国 南宋～元時代・13世紀
松永安左工門氏寄贈
文琳とは林檎の形に由来する名前ですが、この茶入は肩が張っているのが特徴的です



◎大井戸茶碗 佐野井戸

朝鮮 朝鮮時代・16世紀
広田松繁氏寄贈

-2020/2/9(日)

5-6

◎檜島糸肩赤威胴丸

陸奥三春藩主秋田家伝来
室町時代・15世紀
秋田一季氏寄贈
福島県の三春藩を治めていた秋田家に伝来した胴丸で、精緻な彫金は中世後期の甲冑のなかでも屈指のもので



-2020/2/16(日)

◎梨地笹龍膽車紋時給糸巻太刀(太刀 銘 眞真の拵)

江戸時代・17～18世紀 財雲州三谷家明徳会寄贈
江戸時代の高位の武士が直垂や大紋を着る際に用いた刀装で、この鞘にみる家紋は有馬家のもので



-12/25(水)

3-1

◎弥勒菩薩図像

高山寺伝来
鎌倉時代・13世紀
密教的に改変された、腕が30本もある弥勒菩薩像です



2020/1/2(木)-2/2(日)

◎十六羅漢像(第十六尊者)

平安時代・11世紀

11世紀仏画の代表作のひとつです。穏やかな彩色の美しさが特徴です

-2020/1/26(日)

8-1

◎源氏絵彩色貝桶

江戸時代・17世紀



◎桐竹文鏡 青家次作

安土桃山時代・天正16年(1588)
作者の青家次(あおいえつづく)は皇室の御用鏡師。皇室ゆかりの桐を豪勢に表します



12月 本館展

14

播鉢形水指
丹波 江戸時代・17世紀
宮脇真理氏寄贈
丹波で中世からつくられた播鉢の形をした珍しい水指です

-12/8日
耳付花入
伊賀 江戸時代・17世紀



10
浮世絵

-12/22日
見立小倉山園 東艶齋花翁筆 江戸時代・18世紀
式子内親王が藤原定家の山荘を訪ねる様子を当世風に描いています



15

2020/1/2(木)-2/24(月)休

◎伊勢路見取絵図 松坂：機織殿、小俣、山田：外宮、宇治：内宮・二見・磯部

道中奉行所編 江戸時代・文化3年(1806)
浅草文庫旧蔵
松坂から宇治・神宮を経る伊勢路の沿道を詳細に描いた図です



(部分)

12/24(火)-2020/1/19(日)

羽根付図 磯田湖龍斎筆 江戸時代・18世紀

羽根突きを楽しむ女性達。特別注文によって制作された細緻な描写がみどころです



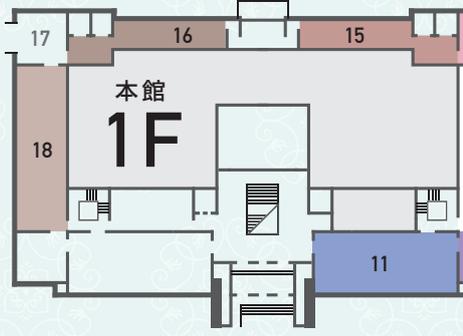
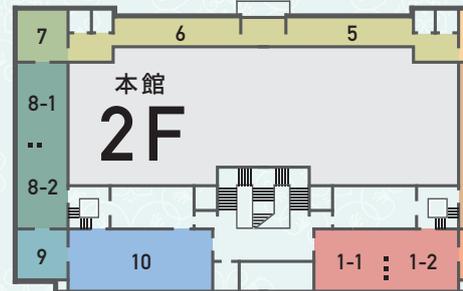
貝譜
江戸時代・19世紀
大小様々な貝が真に迫る丁寧な彩色で、標本箱の中にあるかのように描かれています



10
衣装

-12/25(水)
小袖
白縷子地枝垂楓笠模様
江戸時代・18世紀

2020/1/2(木)-2/24(月)休
打掛 白縷子地松竹梅洲浜台宝尽模様
江戸時代・19世紀
祝用の飾りである洲浜台、松竹梅、宝尽など吉祥模様にあふれた晴着です

16

2020/1/2(木)-4/12(日)

アンピン(緑釉把手付水注)
沖縄本島 壺屋焼 第二尚氏時代・18世紀末~19世紀
酒や水を入れて使用した手付きの注器。沖縄で「アンピン」と呼ばれるものです

盆
北海道アイヌ 19世紀 徳川頼貞氏寄贈



11

本館 1F: 11, 12, 14~16, 18

2020/1/2(木)-2/24(月)休
◎十二神将立像(末神)
京都・浄瑠璃寺伝来 鎌倉時代・13世紀
十二神将立像のうちの末神。運慶系統の仏師の作とみられます

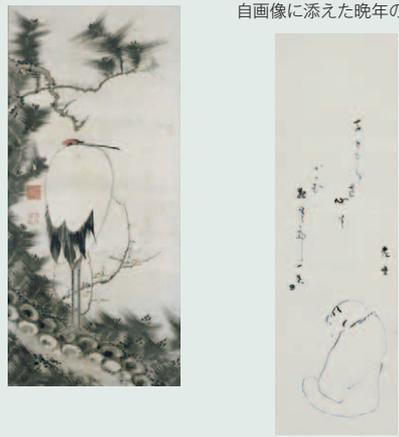
阿弥陀如来立像
(善光寺式三尊像中尊)
鎌倉時代・文永2年(1265)
長野・善光寺の秘仏本尊である阿弥陀三尊像の中尊を模した、鎌倉時代の優品です



8-2

2020/1/2(木)-2/9(日)
松梅孤鶴図
伊藤若冲筆 江戸時代・18世紀
植松嘉代子氏寄贈
中国・明時代の絵を元にして、松の上で休む鶴をユーモラスに描いています

-12/25(水)
一茶像自画像
小林一茶筆 江戸時代・19世紀
久世民楽氏寄贈
『おらが春』の句「子どもを心ておがも夜寒かな」を、自画像に添えた晩年の作



18

2020/1/2(木)-2/9(日)

無我
横山大観筆 明治30年(1897)
「無」の概念を本図で表して、新しい日本絵画の創造を試みました

雪中の鷺
柴田是真筆 明治時代・19世紀
鷺が獲物を狙い、逃した一連の動きが精妙に表現されています



12

2020/1/2(木)-3/22(日)

◎御所車時絵硯箱
江戸時代・17世紀 (→3ページ)

獅子螺鈿鞍
平安~鎌倉時代・12~13世紀 嘉納治五郎氏寄贈
時絵の金色と螺鈿の白色の対比が鮮やか。古式を示す希少な中世鞍の名品です(→7ページ)



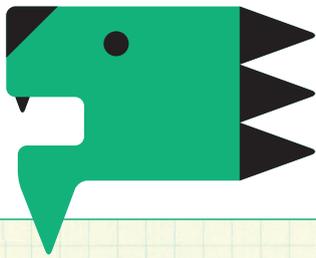
9

2020/1/2(木)-2/24(月)休

◎側次 金地石室宝尽模様
毛利家伝来 江戸時代・18世紀
中国の八宝模様が日本にも伝わり、富の象徴である宝尽模様として愛好されました

長絹 紫地扇牡丹菊模様
江戸時代・18世紀





みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「日本における中国書画の愛好」

日時：12月14日(土) 13:30~15:00
講師：六人部克典(登録室研究員)

古くから日本に舶載された中国の書画は、独自の美意識のもとに鑑賞されてきました。日本における愛好の歴史に注目して中国書画の名品をご紹介します。

月例講演会「能面の造形と魅力」

*関連展示：本誌6ページ

日時：2020年1月11日(土) 13:30~15:00
講師：川岸瀬里(教育普及室研究員)

ここ数年の調査の結果を交えながら、能面の造形とその魅力をお伝えします。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし当日の入館料が必要)
*開場は開始の30分前(予定)

ギャラリートーク

正倉院の幡

日時：12月3日(火) 14:00~14:30
場所：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：沢田むつ代(客員研究員)

法隆寺と正倉院に伝えられている幡(旗のようなもの)は、時代とともに形などに変化がみられます。両者の違いを比べてみましょう。

古代世界の工芸品の細部に迫る

*関連展示：本誌2ページ

日時：12月10日(火) 14:00~14:30
場所：東洋館ミュージアムシアター
講師：小野塚拓造(平常展調整室研究員)

特別展「人、神、自然—ザ・アール・サーニ—コレクションの名品が語る古代世界—」出品作品の細部や、鑑賞ポイントをご紹介します。

大黒天と鼠

*関連展示：本誌4ページ

日時：2020年1月21日(火) 14:00~14:30
場所：本館特別1室
講師：河野正訓(考古室研究員)

子宝、繁栄、幸福の象徴として人々に愛されてきた鼠について、神々と関連付けて解説します。

狩野永敬「十二ヶ月花鳥図屏風」

日時：2020年1月28日(火) 14:00~14:30
場所：本館地下 みどりのライオン
(教育普及スペース)

講師：遠藤楽子(百五十年史編纂室主任研究員)
十二ヶ月花鳥図屏風(2020年1月2日(木)~2月9日(日)本館7室にて展示)について見どころをご紹介します。



十二ヶ月花鳥図屏風(部分)
狩野永敬筆 江戸時代・17世紀

旧石器時代の狩猟具

日時：2020年1月31日(金) 18:30~19:00
場所：平成館考古展示室
講師：飯田茂雄(考古室研究員)

今から1万年を遡る旧石器時代に暮らした人々は、狩猟採集によって日々の糧を得ていました。彼らの生活になくてはならない狩猟具の紹介を通して、その生活に迫ります。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

*各回15:30~15:50

「子日蒔絵棚」にみる光悦の意匠

日時：2020年1月31日(金)、2月5日(水)、21日(金)、26日(水)
解説：泉山真悠(美術研究科芸術学専攻 工芸史研究室)
場所：本館12室
「子日蒔絵棚」を通して、本阿弥光悦の蒔絵の魅力をご紹介します。

「十二ヶ月花鳥図屏風」の魅力

日時：2020年1月15日(水)、19日(日)、26日(日)、
2月1日(土)、6日(木)、9日(日)
解説：内田夏帆(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)
場所：本館7室
屏風という形式を意識しながら、四季折々の景物が作り出す空間についてお話しします。

「雪中群鶏」にみる渡辺省亭の洋風表現

日時：2020年1月12日(日)、18日(土)、22日(水)、23日(木)、
28日(火)、29日(水)
解説：榎本佳(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)
場所：本館18室
明治時代、独自の作風を展開した渡辺省亭による日本画「雪中群鶏」の魅力をご紹介します。

青木繁が描きだした神話画「日本武尊」

日時：2020年1月17日(金)、2月28日(金)
解説：柯輝煌(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)
場所：本館18室
明治後期の西洋画家・青木繁の「日本武尊」に注目し、神話がどのように描き出されたのかお話しします。

ヴィンチェンツォ・ラゲザの「日本の婦人像」

日時：12月5日(木)、2020年1月24日(金)、
2月13日(木)、18日(火)、20日(木)、27日(木)
解説：小梨貞子(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)
場所：本館18室
ラゲザの「日本の婦人像」の魅力、明治の時代背景を交えてご紹介します。

雪村の「鷹山水図屏風」の画面構成について

日時：2020年1月7日(火)、8日(水)、16日(木)、21日(火)、30日(木)、
2月2日(日)
解説：笹尾梨良(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)
場所：本館3室
雪村周継が描いた動物や自然の屏風における魅力についてお話しします。

宝慶寺石仏龕のかたちとその意味

日時：2020年1月9日(木)、11日(土)、25日(土)、
2月4日(火)、8日(土)、12日(日)
解説：中西希(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)
場所：東洋館1室
唐時代・8世紀の仏像の魅力について、かたちと図像の意味を中心にをご紹介します。

宮川香山と明治の「日本」

日時：2020年2月14日(金)、16日(日)、19日(水)、23日(日・祝)
解説：橋詰果歩(美術研究科芸術学専攻 工芸史研究室)
場所：本館18室
超絶技巧の「褐釉蟹貼付台付鉢」に込められた香山の想いを、明治時代の「日本」を交えながらお話しします。

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

事前申込制 [往復はがき・ウェブサイトフォーム]

バックヤードツアー

「保存と修理の現場へ行こう」

文化財の保存と修理についての解説および修理室等のバックヤードツアーを行います。関連展示や修理室、さらに修理や研究で使っている大型CTスキャナーなどをご案内します。

日時：2020年3月27日(金) 14:00～16:30

定員：60名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

めったに見られない現場に行けるチャンスです!



申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合は、「往信用裏面」に(1)氏名・ふりがな、(2)郵便番号・住所・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

※1回の入力もしくは1枚のはがきで、1名のみ申込可。

※申込みは1名につき1回(1通)までです。2回(2通)目以降は、無効となります。

申込先：〒110-8712

東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館

教育講座室

「バックヤードツアー」係

申込締切：2020年1月9日(木)必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代)

教育講座室



あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき・ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

子どもの勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：2020年2月2日(日) 13:30～15:30

会場：本館地下 みどりのライオン

(教育普及スペース)

対象：小学3年生～中学生(保護者の見学可)



定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・学年、(2)参加者の郵便番号・住所(参加者全員)、(3)代表者の電話番号、(4)保護者が一緒の場合は保護者の人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：2020年1月6日(月)必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室

「2月2日勾玉作り(こども)」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室



12月7日・8日 東博ボランティアデー 2019

東博ボランティアデー(12月7日(土)・8日(日))では、ボランティア活動を紹介するツアーや、募集説明会、ボランティアによる各種ガイドツアーを実施します。お気軽にご参加ください。

◆ボランティア活動紹介ツアー・質問コーナー

時間：各日10:30～11:30、13:30～14:30、15:00～16:00

(随時受付、ツアー時間は30分程度)

受付：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

◆ボランティア募集説明会

時間：各日10:00～10:30、13:00～13:30、14:30～15:00、

16:30～17:00

場所：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

やってみたくてちょっと不安...そんな方はぜひご参加ください!



令和2年度 ボランティア募集のお知らせ

令和2年(2020)4月から3年間の任期で活動するボランティアを約50名募集します。活動内容は、来館者対応が中心です。館内のご案内や体験コーナーでの運営などのほか、職場体験の生徒さんとの活動、イベントやワークショッププログラムの補助、スクールプログラムの一部実施などを行っています。さらに興味があれば、ガイドツアーなども行うことができます。

条件：18歳以上、月2回以上の活動ができること。そのほか、資格は必要ありません。トーハクが好き、人と接するのが好き、前向きで協調性のある方の応募をお待ちしています。

応募受付：12月9日(月)～2020年1月9日(木)

(17時必着。郵送のみ受付)

応募用紙は当館ウェブサイトからもダウンロードできます。

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室



*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL：03-3822-1111 (代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

*👉は「ヒアリンググループ」対応、👈は「UDトーク」対応のイベントです。

国際シンポジウム 展示室で語る「日本美術」

「モノ」を通じて、「歴史」と現代との対話を真摯に紡いでゆく場——それがミュージアムです。第6回目にあたる今年度は、ミュージアムの現場に基づいて、様々な視点から「日本美術」を語りあい、共に理解しあうためのきっかけとして、開催いたします。

日時:2020年2月1日(土) 10:00～17:20(開場9:30) *休憩あり

会場:平成館大講堂

基調講演:吉田憲司(国立民族学博物館長)

発表者:スティーブン・サレル(ホノルル美術館)/フランク・フェルテンズ(フリーア美術館)/カーン・トリン(リートベルク美術館)/松嶋雅人(文化財活用センター、東京国立博物館) *同時通訳付

定員:300名(事前申込制、先着順) 聴講無料

申込方法:当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。

お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

新春東博寄席 2020

日時:2020年1月26日(日) 開場13:00 開演13:30

会場:平成館大講堂 出演:金原亭馬生、古今亭菊春ほか

料金:2,000円(全席自由) *当日はイベントチケットで総合文化展をご覧ください。

〈チケットのお求め方法〉

○当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)

○ローソンチケット(Lコード:31855)

TEL: 0570-000-407(10:00～20:00オペレーター対応)

0570-084-003(24時間自動音声、要Lコード)

○ウェブサイト:http://l-tike.com/ ○直接購入:ローソン・ミニストップ店頭 Loppi

お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)

休館・閉室情報

展示環境改善等のため以下の通り展示室の一部を閉室します。

本館13室:2020年3月9日(月)まで

本館11～18室:12月9日(月)～2020年1月1日(水・祝)

「東京国立博物館ニュース」リニューアルについて

『東京国立博物館ニュース』は2020年6月よりリニューアルいたします。主な変更点は下記のとおりです。

2020年4-5月号まで年6回発行→2020年6月より年4回発行(6-8月号、9-11月号、12-2月号、3-5月号)

*ニュース会員等の定期購読者様へは別途定期発送時にお知らせいたします。

特別公開「高御座と御帳台」の観覧について

天皇陛下下の即位を内外に示す10月22日の即位礼正殿の儀で天皇陛下が昇られた高御座と皇后陛下が昇られた御帳台を特別公開します。

※詳細は本誌5ページ

公開期間:12月22日(日)～2020年1月19日(日)

会場:東京国立博物館 本館特別4室・特別5室

※会場内では、個人利用に限り写真撮影が可能です。

※会場入口にて手荷物検査を実施いたします。手荷物(貴重品および携帯電話・カメラ等)以外は会場内へお持ち込みいただけません。表慶館前に荷物預かり所をご用意しております。

料金:無料

※ただし、総合文化展および特別展の観覧には別途入館料が必要です。

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

博物館事業の充実のための支援制度です。

○主な特典

特別展内覧会へのご招待 など

○年会費

〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上

特別会員 100万円(1口) / 維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円 / 維持会員 5万円

○申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込

○お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課賛助会担当

東京国立博物館賛助会員 2019年9月25日現在

団体

特別会員 日本電設工業株式会社 様 株式会社 コア 様 大日本印刷株式会社 様 株式会社 毎日新聞社 様 株式会社 大林組 様 朝日新聞社 様 株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様 株式会社 ミロク情報サービス 様 株式会社 読売新聞東京本社 様 三菱商事株式会社 様 凸版印刷株式会社 様 公益財団法人 東芝国際交流財団 様	日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様 日本ロレックス株式会社 様 サロン・ド・ソネット 様 TABIZURU FOUNDATION 様 株式会社 みずほ銀行 様 一般財団法人 東京国立博物館協力会 様 株式会社 東京書芸館 様 株式会社 三美テックス 様 キャンノン株式会社 様	維持会員 株式会社 三冷社 様 株式会社 東京美術 様 株式会社 鶴屋吉信 様 日本通運株式会社 美術品事業部 様 株式会社 安井建築設計事務所 様 株式会社 松本建設株式会社 様 株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様 謹慎書道会 様 近代書道研究所 様 日本畜産興業株式会社 様 インフォコム株式会社 様 学校法人 大勝院学園 様 有限会社 システム設計 様	株式会社 インターネットイニシアティブ 様 株式会社 小西美術工芸社 様 有限会社 キャラリー・竹柳堂 様 株式会社 育伸社 様 株式会社 モリサワ 様 アミ開発有限会社 名古屋支店 様 株式会社 光栄出版株式会社 様 株式会社 資生堂 様 株式会社 グラスハウバーン・ジャパン 様 株式会社 デュナミス 様 キッコーマン株式会社 様 公益社団法人 創玄書道会 様 朝陽書道会 様 一般社団法人 書芸文化院 様	株式会社 精養軒 様 株式会社 都市環境企画 様 全日本空輸株式会社 様 株式会社 清光社 様 一般社団法人 学士会 様 公益財団法人 書道芸術院 様 アズビル株式会社 様 セコム株式会社 様 株式会社 ニッセイコム 様 金剛株式会社 様 株式会社 ロイスダール 様 株式会社 オカムラ 様 株式会社 GIC ジャパン 様 公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団 様	エクスロン・インターナショナル株式会社 様 正筆会 様 はごろもフーズ株式会社 様 有限会社 くんカンパニー 様 株式会社 目の眼 様 株式会社 前田酒店 様 株式会社 サザンプランニング 様 株式会社 ナガホリ 様 株式会社 ジェイ・フィールド 様 株式会社 京書籍株式会社 様 株式会社 シンメイ 様
---	---	---	--	--	--

個人

プレミアム会員 井茂圭洞 様 黒田賢一 様 岩間良孝 様 高木千鶴子 様 特別会員 永久幸範 様 辻本二 様 佐久間美晴 様 井田悦郎 様 大山孝良 様 田中三伊 様 田中御津子 様 増山育博 様 島田仁 様 久保和子 様 維持会員 伊藤信彦 様 飯内匡人 様 岩沢重美 様 高田朝子 様 齋藤京子 様 齋藤邦裕 様 和田美幸子 様 藤原紀男 様 関谷徳衛 様 高橋守 様 小澤洋一 様 玉野のり子 様 榎田良豊 様 長谷川英樹 様	池田孝一 様 木村剛 様 観世あすか 様 星望由尚 様 渡辺章 様 稲垣哲行 様 飯岡雄一 様 高瀬正樹 様 寺浦信之 様 高木美華子 様 吉原知良 様 古屋光夫 様 田中三伊 様 松本澄子 様 池嶋洋次 様 是常博 様 上野孝一 様 阿田陸子 様 絹村安代 様 白井生三 様 津久井秀郎 様 杉田純一 様 神通豊 様 神通豊一 様 石川公子 様 永田美香 様 西岡康宏 様 友景紀子 様 東野治之 様 竹下佳宏 様 野澤智子 様 坂田浩一 様 池谷正夫 様	木谷駿二郎 様 渡久地ツル子 様 汐崎浩正 様 飯田敬子 様 青山道夫 様 小西伸也 様 田中望 様 坂詰貴司 様 吉田靖 様 松本雅彦 様 篠田喜弘 様 増岡信義 様 伊藤喜雄 様 安田格 様 筑紫みづえ 様 岡山玲 様 尾崎昌徳 様 法橋建 様 橋本享世 様 野口圭也 様 渡邊雪絵 様 佐藤隆一 様 田中榮二 様 谷川紀彦 様 山口隆之 様 原一之 様 相田健一 様 相良多恵子 様 鈴木徹 様 今美幸 様 楠富久美 様 加藤孝明 様	伊佐健二 様 軽部由香 様 木越純 様 井上保 様 田中信 様 田崎子 様 古川晴紀 様 新関日出夫 様 土屋和彦 様 岩本光雄 様 山本隆幸 様 山上知子 様 名取幸二 様 野本隆一 様 要英範 様 佐藤美善 様 青山慶子 様 樋口順一 様 吉永喜代子 様 尾崎昌徳 様 法橋建 様 橋本享世 様 田頭一舟 様 岡田良雄 様 師田久子 様 高味良信 様 岡田雅 様 杉山恭規 様 杉森美子 様 高橋明子 様 星八郎 様 田代雅博 様 高橋彦 様 田代雅博 様 清田志郎 様 山中翠谷 様	荒木章 様 柳村衛 様 榊澤剛志 様 小日向志乃 様 清原真里 様 角田保行 様 三浦嘉広 様 中野俊介 様 土屋和彦 様 碓田榮一 様 加納隼人 様 林和人 様 清水透石 様 野本隆一 様 佐藤美善 様 青山慶子 様 樋口順一 様 吉永喜代子 様 竹原孝子 様 高山真行 様 鈴木深泉 様 今村正 様 福武正廣 様 竹内和世 様 岡野一昭 様 伊藤彰信 様 小林治和 様 加藤正叙 様 蔵口真理 様 宮下雅博 様 田代雅博 様 高橋彦 様 清田志郎 様 中村光宏 様	中島米治郎 様 神田靖男 様 森本晃生 様 清原真里 様 角田保行 様 三浦嘉広 様 金光真佐一 様 田辺修一 様 水野和良 様 竹内明世 様 平田大介 様 武井伸之 様 羽石史生 様 長瀬正行 様 前田寿子 様 笠原勉 様 黒河英俊 様 廣瀬敏章 様 北田俊也 様 高見康雄 様 岩本みち子 様 堀川佳津美 様 瀬本篤 様 中山安弘 様 鈴木健之 様 木田則子 様 水田涉子 様 吉原剛一 様 本吉丈夫 様 重田綾子 様 五嶋滋之 様 笹川純 様	岩佐恵子 様 北山卓 様 米山眞満 様 堀内洋志 様 廣中雅子 様 秋田光洋 様 平衛弘子 様 田島ヨシ江 様 沼尻昭雄 様 脇泰一郎 様 本條順子 様 福井一夫 様 石田勝世 様 山神栄司 様 長井真理 様 近藤雅美 様 森本文子 様 青木勝重 様 牧裕子 様 南佳子 様 沖斗南 様 北川由紀夫 様 伊藤隆雄 様 周藤寛幸 様 山見勝彦 様 庄司浩 様 大貫健司 様 石井延隆 様 佐々木裕明 様 鶴谷舞 様 飯浜修 様 清水延孝 様 横田泰三 様 和田文彦 様 加田知佳乃 様	北山卓 様 荒井淳子 様 伊藤建次郎 様 田原喬子 様 大山仁 様 田島ヨシ江 様 沼尻昭雄 様 志田嘉雄 様 本條順子 様 佐藤はるみ 様 面田大介 様 佐藤義昭 様 三上昌宏 様 近藤雅美 様 桑田啓一 様 箕田好文 様 刈谷子 様 大久保慎一 様 金子勝廣 様 石井利行 様 古家惣一郎 様 安諾菜莉子 様 関守利 様 梓澤昂広 様 山崎益男 様 井上美幸 様 櫻井めぐみ 様 山脇成徳 様 池田伸彦 様 牧野友衛 様 藤本久子 様 青木香織 様 柴田和久 様 阿部隆夫 様 宮崎文子 様 藤原正信 様 古瀬敏 様 前田靖代 様 高橋康之 様 山崎進 様 横山峻 様 小山美知子 様	伊賀浩一 様 神田裕子 様 藤谷康男 様 大西史子 様 菅原史詠 様 渡瀬洋子 様 本澤昌宏 様 荒木駿 様 青木茉莉花 様 加治啓子 様 鈴木智子 様 猿橋正樹 様 大浦喜成 様 佐藤宣雄 様 菊地明子 様 西村修一 様 杉本孝夫 様 秋葉桂子 様 近藤恵利加 様 神長克一 様 塩澤美紗 様 保志浩志 様 西村柳 様 柴田和久 様 前田博 様 前田陽子 様 富士原亨 様 中慶一 様 前田裕一 様 菅原昂平 様 文彦祝男 様 深谷久美子 様 飯田太志 様 福田倫子 様	小森義記 様 西内馨子 様 河内重人 様 荒木理江 様 佐藤真希 様 鈴木章弘 様 藤村由貴子 様 石井千明 様 大島千秋 様 西倉美知子 様 安藤佳幸 様 横山隆吉 様 森山孝子 様 新井公之 様 菅原朋子 様 金子真理奈 様 林哲治 様 佐藤真 様 数本泰子 様 数本美介 様 数本基子 様 数本名取 様 星野文仁 様 宮村忠良 様 長瀬俊泰 様 藤原昂平 様 原野文 様 文彦祝男 様 飯田太志 様 福田倫子 様	大岡信広 様 二宮淳恵 様 蓮沼剛 様 野末正博 様 飯野倫子 様 牧野知之 様 片瀬七朗 様 杉山桃子 様 田村淳様 伊藤友彦 様 石井誠一郎 様 酒井雄一郎 様 岡田美代 様 内田善行 様 福田加寿美 様 前田昌彦 様 吉岡大介 様 戸辺毅 様 佐藤敏昭 様
--	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---



九州とインドネシアの不思議な縁

昨夏に九州国立博物館から異動してきました。広い展示室では、どうしても九州に縁のあるものに目がとまります。なかでもお気に入りには平成館・考古展示室の重要文化財「石人」。阿蘇の石を削った荒々しさと物悲しい表情がたまりません。火山の島、九州には石の文化が息づいています。



地元が同じ2人の記念写真!

ところで、目下、私の興味はインドネシアのスマトラ島南部。フィールドであるパセマ高原では、今も多くの石人が出迎えてくれます。しかも、九州に多い彩色壁画のある古墳もあります。九州とスマトラ、石の文化がつながる縁は、古代の壮大なロマンを感じさせてくれます。(調査研究課長・河野一隆)

特別展チケットプレゼント

日本書紀成立1300年 特別展「出雲と大和」(2020年1月15日(水)～3月8日(日)→2ページ)無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は2020年2月10日(月)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース12-1月号」プレゼント係



オンラインチケットの導入について

総合文化展の電子チケットのオンライン販売を開始しました。お手持ちのスマートフォンでチケット画面をご提示いただくことで、チケット購入の列にお並びいただくことなく、ご入館いただけます。ご購入いただける外部サイト・スマートフォンアプリの詳細については、当館ウェブサイトでご確認ください。

『MUSEUM』682号(2019年10月15日発行)の掲載論文

- ①「『研究ノート』東京国立博物館蔵 司徒永孫等三尊像」
石松日奈子(清泉女子大学・東京国立博物館客員研究員)
- ②「『研究ノート』法隆寺献納宝物 伎楽面の復元模造制作について」
三田覚之(文化財活用センター貸与促進担当研究員・東京国立博物館調査研究課研究員)

お問合せ：当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版
(TEL: 03-5244-5723)

定価：1,572円(税込)

TNM & TOPPANミュージアムシアター

※12月22日(日)までは『正倉院—時を超える想い』を上演

VR作品『色絵月梅図茶壺・八橋螺鈿時絵硯箱』

2020年1月2日(木)～3月8日(日)(予定)

野々村仁清作の重要文化財「色絵月梅図茶壺」、そして尾形光琳作の国宝「八橋螺鈿時絵硯箱」は、いずれも江戸時代につくられた日本を代表する工芸品です。細部を拡大して見たり、作品を“内側”から見たりする視点によって広がるのは、名工が作り出した絶対的な美の世界。日本が誇る名宝の美しさをミュージアムシアターでご堪能ください。



料金：一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生300円、未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)

- *総合文化展とセット購入で一般：1,000円/大学生800円
- *所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイト(<http://www.toppan-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 金・土曜日は21:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館、翌平日は休館)、年末年始(12月26日(木)～2020年1月1日(水・祝))

- 2020年3月30日(月)は開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般＝620(520)円 大学生＝410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

1月中旬に
メールマガジンが
リニューアルするほ!



最新情報は、
ウェブサイト、Facebook、Twitter、
Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効 年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等さまざまな特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(1年分)

【特典】東京国立博物館ニュースを1年分ご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申込みで100円割引。(2020年6月より年4回発行となります。)

*次号よりご送付希望の場合、締切は2020年1月10日(金)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

- 振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度
口座番号:00140-3-791791

- 振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。
*お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝日は除く)

FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース 第758号 2019年12月1日発行(隔月1回 偶数月発行) 編集/東京国立博物館 広報室 ©東京国立博物館 発行/東京国立博物館 〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9 TEL:03-3822-1111(代表) *ウェブサイトを(URL)https://www.tnm.jp/ 独立行政法人国立文化財機構ウェブサイトを(URL)https://www.nich.go.jp/ デザイン/D_CODE 制作/凸版印刷株式会社

Table with 2 columns: Day (1-31) and Event details. Includes dates like 1日, 2日, 3日, etc., and event titles such as 'トローハク劇場へようこそ!', '正倉院の幡', 'ヴァンチェンツォ・ラゲルザの『日本の婦人像』', etc.

Table with 2 columns: Day (1-31) and Event details. Includes dates like 1日, 2日, 3日, etc., and event titles such as '休館日', '新春イベント', '夜間開館', '雪村の『鷹山水図屏風』', etc.

【出雲と大和】=特別展「出雲と大和」関連事業。(→2ページ) *1=詳細は当館ウェブサイト *2=有料イベント。詳細は当館ウェブサイト *3=「博物館に初もうで」関連イベント(→4ページ) *4=申込みは締め切りました *5=有料イベント。詳細は本誌14ページ

- 講 = 月例講演会等、詳細は本誌12ページ
G = ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
W = ワークショップ(申込みは締め切りました)
ト = 託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料
ボ = ボランティアによるアートスタジオ(申込みは締め切りました)
本 = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館2階1室入口
浮 = ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館10室
陶 = ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館4室
彫 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館11室
樹 = ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館玄関
博 = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
法 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
茶 = ボランティアによる応挙館での茶会、整理券配布場所:本館1階エントランス(9:30から整理券配布、参加費500円、各回先着15名)
庭 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、整理券配布場所:本館1階エントランス(9:30から整理券配布、先着18名)
英 = ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館2階1室入口
散 = ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館玄関
近 = ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館18室
刀 = ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館2階1室入口
東 = ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(12月のボランティアは「世界遺産を巡る旅」、それ以外は「東洋館ハイライトツアー」をご案内します)
京 = 東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク。詳細は本誌12ページ
※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります